



Est.1912

まこと館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



理事長 うめ草①

理事長に就任して考えたこと。それは先ず法人各現場の状況を把握した上で、事業本部の力を法人に結集することだと思に至りました。現在の法人運営方式である3事業本部制を基盤としながら、事業本部間の融和・連帯の意識を醸成し、法人の一体性を確立すること、これが私に与えられた役割・使命だと思っています。

高橋利一前理事長が残してくださった法人中長期基本計画「新しい明日 新たなステージへ 2025年を目指して」と「法人本部・研修センター」はソフト、ハード両面で私たち、受け継いだ世代の大きな財産です。これを生かし、歩んでいくことでこの目標を達成出来るのだと思います。

至誠学舎立川は、その歴史、組織から、そして事業自体からも大きなエネルギーを発散しています。それは時に人を竦ませ、萎縮させます。法人の中にいると気が付かないことも、外からその大きさ、重さを指摘されて驚かされることもあります。そんな時には先ず深呼吸をして足元を見つめましょう。自分自身は小さな平凡な人間です。でも逆にその歴史と組織と事業が私たちを支えてくれているのです。そのことに気が付いたとき私たちは至誠の輪の中にいて仕事が出来ることによって幸せを感じるのです。居場所があり、求められる自分が居る、素晴らしい人生ではありませんか。

法人の一体感を創りあげていくツールとしてこの「まこと館だより」を発行します。皆さんが「至誠の人」であることを確認できる情報紙にしていきたいと思ひます。よろしく!!

橋本 正明

事業本部長メッセージ

6月1日理事会において橋本新理事長より常務理事の指名を受け児童事業本部長を拝命しました高橋久雄です。どうぞよろしくお願いいたします。平成13年3月至誠学園長を退任し、大学で保育士や社会福祉士の養成と子どもの社会的養護を中心とした研究に携わってきました。昨年、昭和女子大学を定年退職したことをきっかけに児童事業本部に復職しました。法人を離れている間も至誠学舎100年史の編集委員長、児童事業本部と保育事業本部の中長期計画策定委員会の外部委員として関わらせていただいていたことが至誠学舎立川を内外両面の立場から見ると（心）を持つことができたように思ひます。

私が施設長最後の年度は2000年でした。社会福祉事業法が社会福祉法に改正され日本の福祉制度の理念やあり方が大きく変わり、その後、システムが未熟なまま新たに生まれるニーズや社会の構造的な問題、経済状況に風見鶏のように制度が変化してきました。その結果として現場が振り回されてきた感があります。

現代の福祉は国の国民に対する約束ですが、民間の心と働きがそれを担ってきた歴史があります。それはまさに至誠学舎立川の歴史であると思ひます。その自負を持って、橋本理事長のリーダーシップのもと職員の皆さまと「まことの心」の理念をそれぞれの持ち場で形に表していく至誠学舎立川の実践をしていきたいと思ひます。

児童事業本部長 高橋久雄



事業本部情報

♥児童事業本部♥

◆7月5日(日)に早朝の雨天にもかかわらず多くの方々のご協力をいただきサンデーマーケット(バザー)を無事実施することができました。◆子どもたちは7月18日から夏休みに入り、今年もスポーツ大会、勝浦の別荘での臨海や河口湖、ハケ岳などでの宿泊行事を楽しみにしています。また、海外生活体験のプログラムとしてカンボジアに職員2人と高校生3名、アメリカのシアトル(テレビ朝日福祉文化事業団主催)に1名が参加します。◆7月19~20日市内のボーイスカウト(カブ隊)が学園の「かしの木プラザ」で1泊キャンプを行いました。◆4年に1回開催されるボーイスカウトの世界ジャンボリー(7/30~8/7、山口県)に至誠大空の家のベンチャースカウト(高校生)1名が代表に選ばれ参加します。◆7月29日~9月4日アジア社会福祉従事者研修生(全社協国際部)韓国の朴さんをお迎えします。子どもたちと生活を共にしながら保育と高齢事業本部にもお世話になります。◆ワークセンターまことくらぶでは、5月に山梨の白州に製菓工場の社会見学に行き9月には旅行(宿泊訓練)を計画しています。ショートステイあずまは、自立生活訓練としての利用もニーズが高いです。◆至誠学園児童福祉研究所に前理事長高橋利一先生が就任し変革する社会的養護をテーマに各領域の専門講師を招き職員研修を企画しています。◆至誠学園後援会のご寄付をもとに立川キャンパスに防災備蓄庫を設置します

♥保育事業本部♥

○只今、保育事業本部における人事委員会の求人活動では、来年度の採用案内パンフレットを一新し温かい雰囲気を出すような工夫や、具体的、仕事のイメージがわかりやすいよう新人だけでなく3年目までの職員メッセージも加えて紹介しています。一度HPをのぞいてご覧ください。今年度は、仙台・新潟などの地方をはじめ、既にビックサイトや都内などの会場で例年より早く活動しています。一人でも多くの至誠の仲間づくりに紹介等、頂ければ嬉しいです。

○規程委員会では運営規程の見直しをし、事業本部内の統一をはかっています。○至誠第二保育園隣地は待機児解消に活用していく為、日野市と協議中です。○日野市では多摩平の森地区において、新たなまちづくり計画が策定され「日野市多摩平A街区保育事業」のプロポーザル参加が決まれば、プロジェクトチームを作り保育事業本部で一体的に進めることとなります。

本格的な夏はこれからですが、今から熱くなりそうです。

♥高齢事業本部至誠ホーム♥

・恒例の至誠ソーシャルワーク研究会(通称「獅子の会」)が去る7月10日夜、至誠ホームのセンター二階会場で開かれました。淑徳大学の稲垣美加子先生による「現代の家族について」の講演と新資格取得者のお祝いパーティーでした。SWに限らず他の専門職へも法人内の研修体制が広がるとよいですね(研修担当常務)

・7月24日夕方に至誠ホームけやき広場にて「納涼大会」を開催いたします。例年地域から大勢の方に参加をいただき盛況です。園長陣による顔見せ興行「炭坑節」は必見です。

・至誠ホームでは今年も7月30~31日に「一泊園長会」を開催します。新年度が落ち着き始めたこの時期に、年度の状況確認、年度内と次年度以降の長期的な課題と方策について、園長陣で落ち着いてじっくり検討します。今年は理事長へも陪席をお願いして、アウリンコ計画を視野に、業界共通の懸案である人材確保、採用方針等について議論する予定です。

・8月7日の夕方には、至誠ホームミナ(国分寺市並木町)で納涼祭が開催されます。ミナと並木の家は7度目の夏です。地元にもしっかりと根差した感のある夏祭りです。お近くの方、ぜひお出かけください。

本部事務局だより

6月29日(月) 塩崎厚生労働大臣が至誠ホーム、至誠保育園、至誠学園、至誠大地の家等を視察。視察後「まこと館」にて橋本理事長以下役員等と意見交換。(厚生労働省ホームページに視察紹介記事掲載。)

7月3日(金) 規程委員会 全保育園の旧規程廃止、運営規程への改正を審議

7月3日(金) 事務局長会議(省略)

7月6日(月) 法人経営会議 1. 7月25日理事会・評議員会議議題(1)決議事項:規程の改廃に関する件(協議事項:①新介護複合施設(特養)アウリンコ建築に関する今後の対応(臨時理事会8月24日)②多摩平の森A街区保育園運営事業者公募(3)報告事項等 2. その他の事項①障害者雇用納付金関係業務調査結果②H27年度民間社会福祉法人施設職員等海外研修の派遣について③第32期アジア社会福祉従事者研修施設受け入れについて④「まこと館だより」の発行について

7月9日(木) 10月の合同バザー運営について旭常務理事を委員長とする合同事業委員会発足。委員は施設長と主任クラス計6人。

7月10日(金) 至誠ソーシャルワーク研究会(通称「獅子の会」)開催

7月18日(土) 第13回至誠福祉セミナー開催:旭常務を委員長とする研修委員会主催

今回の施設実践報告:(1)家族の絆を深める「親子サッカーチーム」の取り組み(2)生 活の中での心理ケア(3)認知症対応型通所介護へ行こう(移行)!(4)至誠ホームにおける天寿を全うするケア 稲垣美加子教授のコメントは大きな励みとなりました。

<編集後記>6月1日高橋前理事長から橋本新理事長に無事バトンタッチ。役員室も一新、なんと魔法のように応接間が出現しました?みなさんぜひ「まこと館」役員室の応接セットにくつろぎにいらしてください